

第4回常任理事会会議録

- 日時 平成19年7月9日(月)午後1時～同3時10分
- 場所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、高木忠雄、佐藤田鶴子、
平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、
栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
- <準備委員長> 伊藤公一
- 欠席者 <常任理事> 相馬邦道、宮崎 隆
- 日本歯科総合研究機構
- <研究部長> 石井拓男

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成19年6月15日～7月8日)

第3回常任理事会会議録(平成19年6月15日開催)

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

□第21回日本歯科医学会総会関係報告（平成19年6月15日～7月8日）

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会収支計算書（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③歯科医療技術の評価・再評価の提案書の提出

黒崎副会長から、標記について、専門分科会からの再提出を経てとりまとめた提案書（保険未収載技術 47 件、保険既収載技術 38 件）を、6 月 29 日付にて厚生労働省保険局医療課に提出した旨、資料に基づき報告がなされた。

④歯科診療ガイドラインの作成

住友総務理事から、標記について、現況報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶第1回歯科医療技術革新推進協議会運営について

住友総務理事から、標記協議会運営について、歯科商工協会から推薦のあった委員の紹介と明日開催される第1回協議会の協議事項について説明がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

井出副会長から、標記について、現在本学会が設置している常置委員会および臨時委員会の運営現況が資料に基づき報告されるとともに、今後、この組織図に示された役員分担を基に、事業計画に沿った改革を進めていきたい旨確認がなされた。

(4) 専門医制度の確立

①第1回専門医制協議会報告（6月29日）

住友総務理事から、標記協議会の進捗状況および今後の運営予定について、会議録に基づき報告がなされた。

②広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

（広告することができる医師等の資格名の追加：平成19年6月18日受理）

- ・（社）日本看護協会：がん看護専門看護師 他 17 専門看護師

(5) 国際交流の推進

江藤会長から、標記について、現況報告がなされた。

5) 歯科治療時の全身的偶発症アンケート調査の協力依頼について

住友総務理事から、日本歯科麻酔学会より依頼のあった標記アンケート調査について、本学会より日本歯科医師会を通じ、都道府県および郡市区歯科医師会へ協力を依頼している旨、資料を基に報告がなされた。

6) 「朝日賞」候補者推薦のお願いについて

住友総務理事から、標記候補者の推薦について、資料を基に報告がなされた。なお、この件については、専門分科会へ情報提供することとした。

7) 会長報告（日本歯科医師会第3回理事会報告等）

江藤会長から、日歯第3回理事会（平成19年6月28日開催）報告がなされた。

- 8) その他
なし。

4. 協 議

1) 平成18年度学会会計収支決算

高木常任理事から、第78回評議員会に提案する標記決算案について、
縷々説明がなされ、これを全会承認した。

2) 平成18年度第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算

高木常任理事から、第78回評議員会に提案する標記決算案について、
縷々説明がなされ、これを全会承認した。

3) 専門分科会への加入に関する件

住友総務理事から、前回常任理事会で日本口腔病理学会ならびに日本
接着歯学会の専門分科会への新規加入を承認したことに伴い、第78回評議
員会に標記議案を提案したい旨説明がなされ、これを全会承認。理事会の
議を経て、同評議員会に「専門分科会への加入に関する件」を第3号議案
として上程することを決定した。

4) 認定分科会への登録に関する件

住友総務理事から、前回常任理事会で全10学会の認定分科会への新
規登録を承認したことに伴い、第78回評議員会に標記議案を提案したい旨
説明がなされ、これを全会承認。理事会の議を経て、同評議員会に「認定
分科会への登録に関する件」を第4号議案として上程することを決定した。

5) 日本歯科医学会規則の一部改正

住友総務理事から、第78回評議員会第4号議案（認定分科会への加入
に関する件）の議決に伴い必要となる、標記規則の一部改正について説明
がなされ、これを全会承認。理事会の議を経て、同評議員会に「日本歯科
医学会規則の一部改正」を第5号議案として上程することを決定した。

なお、評議員会に上程するにあたり、改正条文の記載を一部変更する
こととした。

6) 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正

住友総務理事から、第78回評議員会に提案予定の標記承認基準の一部改正について説明がなされ、これを全会承認。理事会の議を経て、同評議員会に「日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正」を第6号議案として上程することを決定した。

7) 第78回評議員会の運営について

住友総務理事から、標記開催について日程案に基づき説明がなされ、原案どおり全会承認した。

□開催日時：平成19年7月23日（月） 午後2時

□議 事：第1号議案 平成18年度学会会計収支決算
第2号議案 平成18年度第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算
第3号議案 専門分科会への加入に関する件
第4号議案 認定分科会への登録に関する件
第5号議案 日本歯科医学会規則の一部改正
第6号議案 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正

8) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶歯周病と糖尿病診療ガイドラインの作成

江藤会長から、日本歯科医師会より依頼のあった、糖尿病患者の歯周病診療マニュアルの作成協力に関わる日本糖尿病協会歯科医師登録医制度の実施計画の説明がなされた。これを受け、本学会の対応案として、①日本歯周病学会に同ガイドラインの作成を依頼する②同学会内に設置予定のガイドライン作成検討委員会に、日本糖尿病協会より1名の委員派遣を依頼したい旨、資料に基づき提案され、全会承認した。

- ・ 対応専門分科会：日本歯周病学会（理事長 山田 了）
- ・ 対応医科系学会：日本糖尿病学会（理事長 春日雅人）

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長から、標記重点項目の推進について、歯科医療技術革新推進協議会への諮問事項については、今年度末を目処に答申を提出したい旨の説明がなされ、全会承認した。

(3) 学会機構改革の推進

① 専門分科会資格審査委員会答申書（専門分科会）に付記した提言

② 同（認定分科会）に付記した提言

井出副会長から、標記提言の取り扱いについて諮られ、協議の結果、同提言内容を具体的な機構改革案として、来年1月に開催予定の評議員会の議案とすべく、今後本常任理事会で検討を進めたい旨提案され、全会承認した。

(4) 専門医制度の確立

▶ 認定医・専門医制協議会運営規程の一部改正について

住友総務理事から、標記協議会の運営規程の一部改正について諮られ、現状に即した改正（案）を原案どおり全会承認した。

(5) 国際交流の推進

▶ F D Iにおける日歯支援体制の構築

江里口常任理事から、標記について、今後も積極的に専門分科会に協力を要請したい旨提案され、全会承認した。

9) 事業計画の推進

(1) 心肺蘇生法歯科医療関係者研修検討委員会（仮称）の運営について

住友総務理事から、標記委員会（仮称）の運営について諮られ、委員会の委員構成（案）を原案どおり決定した。

なお、必要に応じ、関連学会から適宜オブザーバーを招集し、運営していくこととした。

(2) 学際領域問題検討委員会の設置について

井出副会長から、標記委員会の設置について諮られ、委員会の委員構成（案）を原案どおり決定した。

(3) 英文雑誌の発行に伴う出版社の選定について

住友総務理事から、標記出版社の選定について諮られ、協議の結果、英文雑誌編集委員会と連携をとり、候補業者についてさらに精査した上で、会長一任とすることとした。

また、これに関連し、平井常任理事より、同雑誌のインパクトファクターを取得するための同雑誌の名称変更について資料に基づき報告がなされた。変更案を協議した結果、ネイティブチェックを経た上で、会長一任とすることとした。

(4) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

10) その他

江藤会長より、学術研究委員会の下部組織となる①歯科診療問題調査研究プロジェクト会議②歯科医学未来構想プロジェクト会議の設置について、その設置目的と合わせ提案され、全会これを承認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。